

メドラッド PETシリンジ

(SSS, SDS, SJS series)



再使用禁止

D2

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・シリンジを充填したまま保存しないこと。事前に充填しておいたものの使用しなかったシリンジは廃棄すること。[二次感染の危険がある。]
- ・シリンジ製剤を使用しない場合は、SJS-LP-60-T-Jを使用しないこと。[プライム機能が正しく作動せず、気泡混入のおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 構成品

- ①シリンジ
- ②コネクタチューブ
- ③スパイク針
- ④プライムチューブ

カタログ番号	シリンジ	コネクタチューブ	スパイク針	プライムチューブ
SSS-SPK	○	△	○	△
SDS-CTP-SPK	○(2本)	○※1	○	○
SJS-PT-J	○(1本)	○※2	○	○
SJS-LP-60-T-J	△	○※2	△	○
SSS-LP-60	△	○※3	△	○
LPDCT 160	△	○※3	△	△

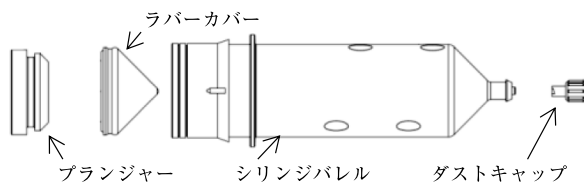
※1 コネクタチューブ：ディスプレイダブルシリンジ対応型T型チューブ

※2 コネクタチューブ：シリンジ製剤対応型T型チューブ

※3 コネクタチューブ：シングルチューブ

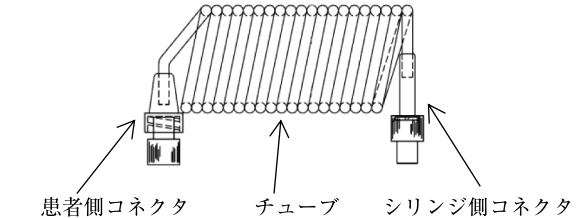
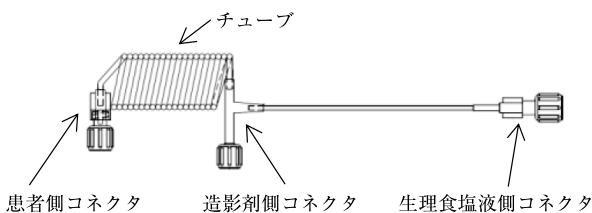
2. 構造図

①シリンジ



シリンジバレル材質：ポリエチレンテレフタレート
ラバーカバー材質：合成ゴム、ポリプロピレンコーティング(シリンジ内側)材質：シリコン

②コネクタチューブ

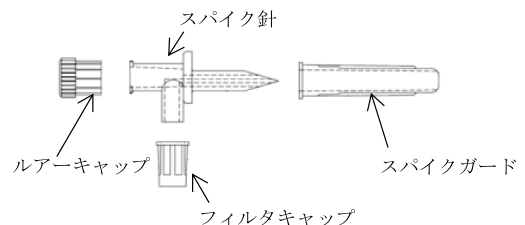


※各コネクタにはダストキャップが付いている。

コネクタ材質：ポリカーボネート

チューブ材質：ポリ塩化ビニル(可塑剤：SJS-LP-60-T-JはDEHP[フタル酸ジ-2-エチルヘキシル]使用)

③スパイク針



スパイク針材質：ABS樹脂

④プライムチューブ



【使用目的又は効果】

本品は造影剤注入装置に装着し患者に造影剤を注入するために用いる注射筒セットである。

【使用方法等】

1. 組み合わせて使用する医療機器

メドラッドCTインジェクター STL/S

(認証番号：21400BZY00492000)

メドラッドCTインジェクター STL/D

(認証番号：21400BZY00411000)

2. 使用方法

(1)シリンジの装着

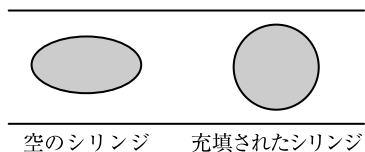
- 1)インジェクタヘッドのピストンが完全に後退していることを確認する。
- 2)パッケージからシリンジを取り出す。
- 3)シリンジをインジェクタヘッドに差し込み、確実に固定する。
- 4)プランジャーを完全に前進させる。

(2)シリンジの充填

- 1)インジェクタヘッドを上向きにする。
- 2)パッケージからスパイク針を取り出し、シリンジ先端に取り付ける。スパイク針を造影剤のボトル、又は、生理食塩液バッグに挿入する。

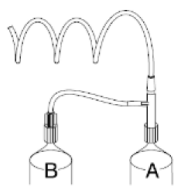
- 3) インジェクタヘッドによる充填を開始する。自動充填機能のある造影剤注入装置の場合は自動充填機能を使用して充填することができる。
- 4) シリンジに気泡が混入していないことを確認する。
- 5) シリンジにはFluiDotsインジェクタが付いており、シリンジ内の液体の有無を確認することができる。シリンジに液体が満たされた状態で、シリンジのFluiDotsインジェクタが丸くなっていることを確認する。FluiDotsインジェクタの丸みは液体の種類によって異なるが、楕円形に見える場合は、シリンジ内が空であることを示している。しかし、FluiDotsインジェクタが丸くても、シリンジの先端に気泡が全く混入していないことにはならないので、十分に注意すること。(図1)

図1



- (3) コネクタチューブの取り付け
 - 1) パッケージからコネクタチューブを取り出し、各コネクタからダストキャップを取り外す。
 - 2) コネクタチューブをシリンジに接続する。T型コネクタチューブを使用する際は、コネクタチューブの造影剤側コネクタを造影剤用シリンジに、生理食塩液側コネクタを生理食塩液用シリンジに接続する。(図2)

図2



A: 造影剤用シリンジ
B: 生理食塩液用シリンジ

- 3) コネクタチューブのコネクタがシリンジの先端にしっかり固定されており、チューブのねじれや経路の閉塞が無いことを確認する。
- 4) プライムチューブを用いる場合は、コネクタチューブの先端に取り付ける。プライムボタン又はマニュアルノブを使用して、チューブ内に注入液を充填する。
- 5) 注入経路の気泡が全て除去されたことを確認する。
- 6) インジェクタヘッドを下向きにする。
- 7) コネクタチューブの患者側コネクタを血管エントリーデバイスへ接続する。
- (4) シリンジの取り外し
 - 1) 注入完了後、血管エントリーデバイスからコネクタチューブを取り外す。コネクタチューブをシリンジから取り外す必要はない。
 - 2) シリンジを反時計方向に回し、インジェクタヘッドから取り外す。シリンジ及びコネクタチューブを廃棄する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- (1) コネクタチューブにチェックバルブ(一方弁)を接続して使用している場合、インジェクタマニュアルノブを使用した吸引による開通性確認はできない。重要な吸引の場合、コネクタチューブからチェックバルブ(一方弁)を取り外し、コネクタチューブをカテーテルに直接接続すること。

- (2) シリンジを外すためには、最後にピストンを前進させること。シリンジが外れない場合は、インジェクタヘッドのマニュアルノブを前進させながら約1回転させた後、「(4)シリンジの取り外し」の2)の手順を繰り返す。シリンジをインジェクタから外すと、ピストンが自動的に引っ込む。(一部のモデルを除く。)

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品を造影剤及び生理食塩液以外の注入用途に使用しないこと。意図しない薬剤注入による本品の破損のおそれがある。
- (2) 造影剤充填後に気泡が完全に除去されていることを確認すること。気泡除去が完了するまで患者を注入ラインに接続しないこと。
- (3) シリンジがインジェクタと確実に接続されていることを確認し、充填あるいは注入を行うこと。シリンジとインジェクタヘッドの印がきちんと合い、またピストンとプランジャーがかみ合っていることを確かめること。正しく接続されていない場合、空気塞栓又は注入量不足が発生するおそれがある。
- (4) 仕様で定められた耐圧を超過しないよう注意すること。

2. 不具合・有害事象

<重大な有害事象>

本品を使用した造影剤注入装置による造影剤等の注入時に以下のような有害事象がおこる可能性がある。

- ・ 空気塞栓
- ・ 造影剤等の血管外漏出

【保管方法及び有効期間等】

* <有効期間>

- ・ SSS-SPK、SDS-CTP-SPK、SJS-PT-J、SJS-LP-60-T-J、SSS-LP-60
4年[自己認証による]
- ・ LPDCT 160
5年[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

バイエル薬品株式会社

TEL:06-6133-6250 FAX:06-6344-2395

外国製造業者

バイエルメディカルケア社(Bayer Medical Care, Inc.) (米国)